

## 国際共生社会研究センター

Center for Sustainable Development Studies

オープンリサーチセンター

### 悪循環を避けるために

東洋大学国際共生社会研究センター（オープン・リサーチ・センター）  
プロジェクト3リーダー 教授 橋本 善太郎

今年の夏は、暑かった。「温暖化」と言うのは単純過ぎますが、最高気温や真夏日日数などのいくつかの記録が塗り替えられた事実からすれば、異常だったことに違いありません。この異常な状況が継続するかどうかの問題です。また、暑くなれば、クーラーが増え、ヒートアイランド現象に拍車がかかるといった悪循環が始まる可能性があります。エネルギーや資源の消費が幾何級数的に拡大してゆきます。その姿は、だんだん明らかになっ

てきました。しかし、人口がさらに増加し、資源・エネルギーの需要が増加する中で、地球環境が破綻するような悪循環を起ささない、持続可能な開発の「方法」は未だ十分には見えていません。地域開発研究の方向がそこにあるのです。



### 公開講座 「日本とアジアを結んで」のご案内

東洋大学国際共生社会研究センター（オープン・リサーチ・センター）  
プロジェクト1 研究員 教授 安 相景

#### 開催の趣旨

平成13年度から始まった国際共生社会研究センターの活動は、持続可能な社会の構築のためのあり方、方法論、あるべき姿などを課題として進めながら、今年で4年目を迎えています。当センターは、設立当初より、「定住環境の形成・整備」、「環境共生社会論の体系化」、「計画作成・評価支援シミュレータの

開発・整備」の三つのプロジェクトに分かれて、それぞれの目的を追求して調査・研究を行いました。

今回の公開講座は、今までの研究成果の社会への発信と交流の目的の一環として、学生や地域の人々などに環境共生社会の実現について理解を促進するために開催し、地域の共生について、情報交換を行うものです。

### 公開講座 「日本とアジアを結んで」

日時：2004年11月6日（土） 12：30開場

会場：東洋大学板倉キャンパス 3号館3101教室（〒374-0193 群馬県邑楽郡板倉町泉野1-1-1）

■ スケジュール ■	■ 講演者及び演題 ■	
開講 13：00	主催者挨拶（5分） センター設立主旨および活動経緯（10分）	国際共生社会研究センター研究員 藤井 敏信 国際共生社会研究センター研究員 藤井 敏信
講座（13：20～15：00）	「タイのスラム地域とコミュニティネットワークの活動」 「インドネシアの都市地域におけるインフォーマルセクター」  「持続可能な観光にむけて」 質疑応答	国際共生社会研究センター研究員 高橋 一男 インドネシア・パラヒャンガン・カノリック大学 建築学部上級講師 ヤスミン・スリアンジャー 国際共生社会研究センター研究員 佐々木 宏茂
閉講（15：10）		

- 講演者・演題は変更されることがあります。予めご了承ください。
- 申し込み等は不要ですので、当日お気軽にご参加ください。なお、お問い合わせは、orc@itakura.toyo.ac.jpまたは0276-82-9140までお願いいたします。